



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 豊田通商株式会社

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 塩崎 泰司

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,180,488	15.4	48,494	38.3	63,904	19.5	33,465	0.9
24年3月期第2四半期	2,756,444	0.8	35,061	△25.0	53,489	△7.8	33,164	22.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 13,026百万円 (△13.5%) 24年3月期第2四半期 15,065百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	95.64	95.60
24年3月期第2四半期	94.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,868,719	750,175	22.2
24年3月期	2,837,428	751,747	22.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 637,023百万円 24年3月期 640,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	26.00	42.00
25年3月期	—	22.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600,000	11.5	114,000	23.4	131,000	13.8	70,000	5.7	199.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Toyota Tsusho Wheatland Inc. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	354,056,516 株	24年3月期	354,056,516 株
----------	---------------	--------	---------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期2Q	3,989,670 株	24年3月期	4,165,972 株
----------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	349,911,546 株	24年3月期2Q	349,684,345 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年11月1日(木).....アナリスト・機関投資家向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済概況を概観しますと、スペイン、イタリアの景気悪化など欧州信用不安の拡大・継続により、世界経済全体の減速傾向が強くなりました。中国、インドといった新興国の景気減速が顕著になり、米国及び中国をはじめとする各国で金融緩和などの景気下支え策が実施されました。一方、余剰資金の流入による資源価格の高止まりと、天候不順による穀物価格の高騰が、景気拡大の抑制要因となりました。こうした中、わが国経済は、復興需要が下支えとなったものの、個人消費・輸出の軟調により停滞傾向が続きました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は自動車生産の回復等により、前年同四半期連結累計期間を4,240億円(15.4%)上回る3兆1,804億円となりました。

これを事業本部別にみますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では、中国における現地調達化の進展に合わせ、江蘇省常州市に自動車用磨棒鋼の製造・販売を行う会社を設立しました。非鉄金属分野では、日本企業として初めて、アルゼンチンのリチウム資源開発会社の株式取得を決定しました。鉄鋼原料分野では、グローバルなリサイクルネットワークの構築を目指して、環境・リサイクル事業推進部を設置しました。売上高については、自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を1,024億円(13.5%)上回る8,631億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、中小部品メーカーの海外進出を支援するため設立したインドネシアのテクノパーク事業会社において、第一期入居企業を受け入れると共に、第二期の建設工事を進めました。また、物流事業拡大のため、ブラジルの大手物流会社との合弁会社設立に関する契約を締結しました。売上高については、自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を718億円(25.4%)上回る3,551億円となりました。

自動車本部では、アフリカでの事業基盤強化のため、仏系大手商社CFAO(セーファーオー)社の株式の29.8%を取得し、更に公開買付けにより追加の株式取得を行うことを決定しました。売上高については、海外の自動車販売増加により、前年同四半期連結累計期間を824億円(25.6%)上回る4,045億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部は、機械分野では、建設機械のグローバル展開を加速するため、シンガポールの大手建設機械レンタル・販売会社に出資し同事業に参入しました。エネルギー・プラントプロジェクト分野では、イラク復興事業への取り組みとして、イラク全土に24カ所の変電所を新設する設計・調達・建設業務をイラク電力省から受注しました。売上高については、石油製品等の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を871億円(16.2%)上回る6,243億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社、インドのキルロスカ・グループと3社共同で、インドでの総合病院運営会社を設立しました。エレクトロニクス分野では、子会社である株式会社E Tスクウェアが、自動車向けマルチメディア配信事業においてパイオニア株式会社との連携を開始し、コンテンツ及びサービスの拡充に努めました。売上高については、エレマテック株式会社の子会社化及び自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を951億円(17.1%)上回る6,522億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社に出資し、豪州における集荷・物流・輸出事業に本格参入しました。食品分野では、農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原が、宮城県大衡村のトヨタ自動車東日本株式会社隣接地に新設する第3農場において、同社工場自家発電機の廃熱を有効利用してパプリカを生産する、新たな農商工連携事業に着手しました。売上高については、穀物輸入の船積み時期変更の影響等による取り扱い減少に加え、市況の影響もあり、前年同四半期連結累計期間を241億円(14.8%)下回る1,391億円となりました。

生活産業・資材本部は、ライフスタイル分野では、介護関連事業の拡充を目指して、株式会社ニチイケアネットが設立した中国の日医福利器具貿易(上海)有限公司への出資につき基本合意しました。都市開発分野では、大阪府箕面市で住宅地「箕面森町PEACEGARDEN」の販売を開始しました。売上高については、震災影響からの回復により、自動車向け資材・用品の取り扱いが増加したことから、前年同四半期連結累計期間を92億円(7.1%)上回る1,400億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により484億94百万円となり、前年同四半期連結累計期間（350億61百万円）を134億33百万円（38.3%）上回りました。経常利益は639億4百万円となり、前年同四半期連結累計期間（534億89百万円）を104億15百万円（19.5%）上回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間（331億64百万円）を3億1百万円（0.9%）上回る334億65百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、売上債権で691億円減少した一方で、投資有価証券で541億円、無形固定資産で223億円、たな卸資産で206億円増加となり、前連結会計年度末に比べ313億円増加の2兆8,687億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で217億円増加した一方で、為替換算調整勘定で155億円、その他有価証券評価差額金で90億円の減少となり、前連結会計年度末に比べ16億円減少の7,501億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、経済情勢の変化に合わせて為替レート等前提条件の見直しを行い、また、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成24年4月27日発表の連結業績予想から変更しております。売上高は前回予想を1,000億円（1.5%）下回る6兆6,000億円、営業利益は前回予想を10億円（0.9%）下回る1,140億円、経常利益は前回予想を40億円（3.1%）上回る1,310億円となり、税引後の当期純利益は前回予想と変わらず700億円となる見込みです。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、新たに設立したToyota Tsusho Wheatland Inc. を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	354,811	340,110
受取手形及び売掛金	1,054,602	985,549
有価証券	10,000	—
たな卸資産	406,546	427,118
その他	156,063	167,995
貸倒引当金	△5,050	△4,745
流動資産合計	1,976,974	1,916,028
固定資産		
有形固定資産	353,042	367,494
無形固定資産		
のれん	78,005	69,683
その他	34,554	65,147
無形固定資産合計	112,560	134,831
投資その他の資産		
投資有価証券	311,030	365,121
その他	99,454	100,375
貸倒引当金	△15,633	△15,131
投資その他の資産合計	394,851	450,365
固定資産合計	860,454	952,691
資産合計	2,837,428	2,868,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	800,067	734,044
短期借入金	350,001	369,344
未払法人税等	17,036	16,069
引当金	837	471
その他	319,263	347,535
流動負債合計	1,487,206	1,467,465
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	444,521	498,618
引当金	21,298	19,308
その他	47,653	48,152
固定負債合計	598,474	651,079
負債合計	2,085,681	2,118,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,395
利益剰余金	483,255	504,930
自己株式	△6,844	△6,549
株主資本合計	695,714	717,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,924	7,940
繰延ヘッジ損益	△577	△1,345
為替換算調整勘定	△71,730	△87,284
その他の包括利益累計額合計	△55,383	△80,689
新株予約権	1,454	1,369
少数株主持分	109,962	111,782
純資産合計	751,747	750,175
負債純資産合計	2,837,428	2,868,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,756,444	3,180,488
売上原価	2,598,725	2,993,413
売上総利益	157,719	187,075
販売費及び一般管理費	122,657	138,580
営業利益	35,061	48,494
営業外収益		
受取利息	1,467	1,836
受取配当金	9,215	8,435
持分法による投資利益	8,917	10,196
雑収入	8,077	7,499
営業外収益合計	27,678	27,968
営業外費用		
支払利息	6,693	8,849
雑支出	2,557	3,710
営業外費用合計	9,250	12,559
経常利益	53,489	63,904
特別利益		
固定資産売却益	5,965	432
投資有価証券及び出資金売却益	89	914
債務保証損失引当金戻入額	—	159
事業撤退損失引当金戻入額	28	467
損害補償損失引当金戻入額	—	1,024
契約損失引当金戻入額	—	289
段階取得に係る差益	—	2,330
新株予約権戻入益	16	73
受取保険金	55	154
厚生年金基金代行返上益	2,214	—
特別利益合計	8,370	5,845
特別損失		
固定資産処分損	145	598
減損損失	80	—
投資有価証券及び出資金売却損	175	129
投資有価証券及び出資金評価損	974	3,375
関係会社整理損	97	—
債務保証損失引当金繰入額	180	—
事業撤退損失引当金繰入額	1,367	—
契約変更に伴う精算金	—	4,908
その他	8	36
特別損失合計	3,029	9,047
税金等調整前四半期純利益	58,830	60,701
法人税等	19,916	21,118
少数株主損益調整前四半期純利益	38,914	39,583
少数株主利益	5,750	6,117
四半期純利益	33,164	33,465



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,914	39,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,733	△8,556
繰延ヘッジ損益	2,631	△791
為替換算調整勘定	△17,125	△15,849
持分法適用会社に対する持分相当額	△622	△1,359
その他の包括利益合計	△23,848	△26,556
四半期包括利益	15,065	13,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,329	8,169
少数株主に係る四半期包括利益	3,736	4,857

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	760,731	283,320	322,197	537,264	557,147	163,265	130,810	2,754,736	1,708	2,756,444	—	2,756,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	88	3,056	18	507	3,019	59	978	7,727	187	7,915	△7,915	—
計	760,820	286,377	322,215	537,771	560,166	163,324	131,788	2,762,463	1,896	2,764,360	△7,915	2,756,444
セグメント利益又は損失 (△)	13,693	3,605	11,159	△1,472	5,042	1,063	3,610	36,701	△1,636	35,064	△2	35,061

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	863,142	355,161	404,582	624,339	652,227	139,171	140,098	3,178,723	1,765	3,180,488	—	3,180,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	66	2,713	0	1,404	2,912	64	1,104	8,265	237	8,503	△8,503	—
計	863,208	357,874	404,582	625,744	655,139	139,235	141,202	3,186,988	2,003	3,188,991	△8,503	3,180,488
セグメント利益又は損失 (△)	15,233	8,272	17,051	△3,479	7,079	133	5,982	50,273	△1,777	48,495	△1	48,494

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 重要な後発事象

### (投資に係る重要な事象)

当社は、平成24年8月2日に仏系大手商社CFAO S.A. (以下、CFAO社) の発行済株式29.8%の取得を完了しておりますが、更なる同社株式の取得に向けて平成24年10月19日より公開買付けを開始いたしました。

#### 1. 株式取得の理由

当社は、成長著しいアフリカを重点地域のひとつと位置付け、モビリティ分野を中心に積極的な事業展開を進めてきており、更なる事業基盤の強化を検討してまいりました。

このたび、アフリカの仏系大手商社であるCFAO社の株式を取得いたしました。モビリティ分野において、当社は南・東アフリカ地域を中心に25ヶ国でトヨタ車等のネットワークを持ち、CFAO社は北・西アフリカ地域を中心に32ヶ国で20ブランド以上の自動車代理店・販売店を展開しております。CFAO社の株式取得により、アフリカでの展開国は全54ヶ国中48ヶ国となり、アフリカ全土での事業展開が可能となりました。

また、CFAO社のもうひとつの柱である医薬品事業は、アフリカNo.1のシェアを有しております。当社もライフ&コミュニティ分野において、医薬品・介護関連事業に注力しており、この分野でのCFAO社の事業展開をサポートしてまいります。

#### 2. 取得する会社の概要

名称	CFAO S.A. (ユーロネクスト・パリ上場)		
事業内容	自動車輸出入、販売・メンテナンス、医薬品卸、ITサポート、レンタル、建機販売・メンテナンス、エレベータ販売・メンテナンス 等		
資本金	10百万ユーロ		
当該会社の最近3年間の連結売上高及び連結総資産 (金額単位：百万ユーロ)			
決算期	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
連結売上高	2,582	2,676	3,123
連結総資産	1,714	1,918	2,315

#### 3. 公開買付けの概要

公開買付期間	平成24年10月19日から25営業日以上
公開買付価格	株式1株当たり37.5ユーロ

#### 4. 損益に及ぼす重要な影響

本件に係る平成25年3月期の連結業績予想への影響については、現在算定中です。

2013年3月期第2四半期連結決算概要

2012年10月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q
売上高	16,401	15,403
営業利益	263	221
経常利益	349	289
四半期純利益	226	107

連結経営成績	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	31,804	27,564	4,240	15.4%
売上総利益	1,870	1,577	293	18.6%
販売費及び一般管理費	1,385	1,226	159	-
営業利益	484	350	134	38.3%
利息収支	▲70	▲52	▲18	-
受取配当金	84	92	▲8	-
持分法による投資損益	101	89	12	-
その他	37	55	▲18	-
経常利益	639	534	105	19.5%
特別損益	▲32	53	▲85	-
税金等調整前 四半期純利益	607	588	19	3.2%
法人税等	211	199	12	-
少数株主利益	61	57	4	-
四半期純利益	334	331	3	0.9%

主な増減要因
<p><b>【売上高】+4,240億円</b> 自動車生産台数の増加に伴い、金属本部を中心に増加</p> <p><b>【売上総利益】+293億円</b> 売上高の増加及び新規連結子会社の影響により、自動車本部、化学品・エレクトロニクス本部を中心に増加</p> <p><b>【販売費及び一般管理費】+159億円</b> 新規連結子会社の影響等により増加</p> <p><b>【利息収支】▲18億円</b> 新規連結子会社の影響等により減少</p> <p><b>【持分法による投資利益】+12億円</b> 新規連結子会社の影響等により増加</p> <p><b>【その他営業外損益】▲18億円</b> 主に為替差益の減少</p> <p><b>【特別損益】▲85億円</b> 主に前期固定資産売却益の影響及び当期契約変更に伴う精算金により減少</p>

商品本別 連結売上高・営業利益	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
金 属	8,631	7,607	1,024	▲67	1,091	14.5%
グローバル生産部品・ ロジスティクス	152	136	16	▲2	18	13.0%
自動車	3,551	2,833	718	▲75	793	28.8%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	82	36	46	▲1	47	133.9%
化学品・ エレクトロニクス	4,045	3,221	824	▲124	948	30.6%
食 料	170	111	59	▲6	65	60.9%
生活産業・資材	6,243	5,372	871	▲18	889	16.6%
合 計	▲34	▲14	▲20	1	▲21	-
	6,522	5,571	951	▲30	981	17.7%
	70	50	20	▲1	21	42.2%
	1,391	1,632	▲241	▲13	▲228	▲14.1%
	1	10	▲9	▲2	▲7	▲85.2%
	1,400	1,308	92	▲6	98	7.6%
	59	36	23	0	23	65.3%
	31,804	27,564	4,240	▲334	4,574	16.8%
	484	350	134	▲9	143	42.1%

※上段:売上高、下段:営業利益

主な増減要因
<p><b>【売上高・営業利益】</b> 自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 海外自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 単体の輸出及び海外自動車販売会社の取扱台数増加により増収増益</p> <p><b>【売上高】</b> 石油製品等の取扱い増加により増収 <b>【営業利益】</b> たな卸資産の評価損等により減益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響及び自動車生産台数の増加により増収増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 輸入穀物の取扱い減少及び市況下落により減収減益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 自動車向け資材・用品の取扱い増加により増収増益</p>

連結財政状態	第2四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	28,687	28,374	313	1.1%
(流動資産)	19,160	19,769	▲609	▲3.1%
(投資有価証券)	3,651	3,110	541	17.4%
(その他の固定資産)	5,875	5,494	381	6.9%
純資産	7,501	7,517	▲16	▲0.2%
有利子負債(NET)	7,933	6,721	1,212	18.0%
D E R (NET)	1.2	1.0	0.2	

主な増減要因
<p><b>【流動資産】▲609億円</b> ・現預金の減少 ▲147億円 ・売上債権の減少 ▲691億円 ・たな卸資産の増加 +206億円</p> <p><b>【投資有価証券】+541億円</b> 主に関連会社株式の取得による増加</p> <p><b>【その他の固定資産】+381億円</b> ・有形固定資産の増加 +144億円 ・無形固定資産の増加 +223億円</p> <p><b>【純資産】▲16億円</b> ・利益剰余金+217億円 (四半期純利益+334億円、配当金▲91億円等) ・有価証券評価差額金▲90億円 ・為替換算調整勘定▲155億円</p>

連結業績予想	(修正) 当期予想	前期実績	前期比		(参考)4/27公表 当期予想
			増減額	増減率(%)	
金 属	17,600	16,553	1,047	6.3%	19,000
グローバル生産部品・ ロジスティクス	335	323	12	3.5%	440
自動車	6,900	6,208	692	11.1%	7,300
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	150	99	51	50.8%	160
化学品・ エレクトロニクス	8,000	6,688	1,312	19.6%	8,000
食 料	325	254	71	27.5%	270
生活産業・資材	14,100	12,245	1,855	15.1%	12,700
	70	5	65	-	10
	13,300	11,372	1,928	16.9%	13,900
	150	115	35	29.6%	170
	3,150	3,111	39	1.2%	3,150
	20	25	▲5	▲22.2%	20
	2,900	2,951	▲51	▲1.7%	2,900
	120	133	▲13	▲10.0%	110
全社 売上高	66,000	59,167	6,833	11.5%	67,000
営業利益	1,140	924	216	23.4%	1,150
経常利益	1,310	1,151	159	13.8%	1,270
当期純利益	700	662	38	5.7%	700

※上段:売上高、下段:営業利益

1株当たり配当金	当期 (予想)	前期
中間	22円	16円
年間	44円	42円
配当性向(連結)	22.0%	22.2%

主要指標推移		第2四半期 累計期間	前年同期 (前期末)	2013年 3月期 (予想)
為替(円/米ドル)	平均	79	80	79
	期末	78	(82)	78
金利	円TIBOR3M平均	0.33%	0.34%	0.35%
	米ドルLIBOR3M平均	0.45%	0.28%	0.40%
トハイ原油(米ドル/bbl)		107	109	100
豪州一般炭(米ドル/トン)		93	121	95
シカゴコーン(セント/Bushel)		698	714	700